

# 春爛漫 茂山狂言会

芸術文化センターに

春の  
陽気に  
誘われて



# 鞆猿

登場!



2022年12月  
公演より

桜のつぼみがほころびはじめ、

背中にふと感じるあたたかな陽ざし...春はもうそこまでやっています。

毎年4月開催『春爛漫 茂山狂言会』は、

春の陽だまりのようなあたたかな笑いを阪急 中ホールに届けてくれます。

うらかな春の陽気に誘われて、

狂言鑑賞にお出かけなんて素敵ですね。

## 猿に始まり、狐に終わる

狂言師としての本格的な第一歩となる『鞆猿』の“猿”役。

ここから狂言師への道が始まるのです。

この春、この『鞆猿』で小猿に挑戦するのは、

昨年7月に『いろは』で初舞台をふんだばかり、現在7歳の鈴木颯真くん。

父・鈴木実さん、当主・千五郎さんたちに見守られ、芸術文化センター初お目見えです！

2月某日、『鞆猿』のお稽古に励む小さな狂言師にお話を聞きました！

狂言を始めたきっかけは？

パパが狂言をしているのを見て、やりたくなりました。

父親である実さんが狂言師のため、赤ん坊の頃から常に狂言に触れていた颯真くん。実さんによると、本人からずっと「狂言をやりたい」と言われていたものの機会を逃していたそう。そんな中、昨年千五郎さんから『鞆猿』をお声がけいただき、颯真くんも「やりたい!」と飛びついたとのこと。それ以降、定期的にお稽古に通い、お家でも暇さえあれば千五郎家のYouTube を見てお稽古しているのだそうです。



猿曳き、小猿ともに射ようとする大名(左)と  
やむなく自ら小猿を打とうとする猿曳き(右)  
—緊迫の場面が続きます



お猿さんらしい可愛らしいしぐさに  
思わず笑みがこぼれます



かわいい小猿の舞は  
必見です!

『鞆猿』に出演した感想を教えてください。

たくさん拍手をもらえて嬉しかった。お稽古も楽しかったです。

昨年12月に『鞆猿』を演じたのが公の舞台デビューとなる颯真くん。4月芸術文化センター公演の前にも、2月に実さんとの親子共演で『鞆猿』に出演予定です。「12月にできなかったことをお稽古と2月の本番を通してブラッシュアップし、4月には今できるベストの『鞆猿』ができれば。逸平先生に教えていただいたことを吸収して演じてもらいたい」とは実さんのお言葉。

大変なところ、見てほしいところは？

最後が大変です。見てほしいところは全部です!

“小猿”役は全身を覆う衣裳に顔を被ったまま長時間動き回るため、体力的にもとても大変。最後まで集中力を途切れさせずに演じきるのとは並大抵のことではないのです。広い舞台を元気に駆け回る可愛いお猿さんのしぐさに、最初から最後まで片時も目を離せません!

実さんに、颯真くんに期待することをお聞きすると、「ただ一生懸命やってくれたらそれで良い。僕としては、いち役者仲間として一緒にやっていけたら嬉しいです」狂言師としての『鞆猿』共演が楽しみです!



父・鈴木実さん(左)  
と鈴木颯真くん

続きは  
裏面へ

この時期にしか見ることでない、『靱猿』に会いに来ませんか。

### 千五郎さんが解説!「靱猿」ここが見どころ★

横暴な大名の要求に屈しない猿曳との一触即発な掛け合い。小猿に対する猿曳の愛情の深さ。そして小猿の可愛さ。狂言には珍しく、どんどんと心情や雰囲気が展開していく、屈指の名曲です。

2022年12月公演より 猿曳:茂山千五郎、小猿:鈴木颯真



お稽古をつける茂山逸平さん(右)

茂山家でも皆さんが経験された“小猿”役、この日お稽古をつけてくれた逸平さんが『靱猿』の思い出を教えてくださいました。

30年以上前になりますが、お猿さん役で北海道に連れて行ってもらったことや、南座の舞台がとてつもなく広かったなど、断片的ですが記憶にあります。狂言をはじめての記憶は、ちょうど『靱猿』くらいからですね。



## お豆腐狂言会

解説:茂山千五郎

※解説つき/上演時間 約2時間

きつね づか  
「狐塚」

太郎冠者:茂山宗彦/主人:茂山 茂  
次郎冠者:茂山逸平

とび こえ  
「飛越」

新発意:茂山七五三/檀家:茂山あきら

うづぼ ざる  
「靱猿」

大名:茂山千五郎/猿曳:茂山千之丞  
太郎冠者:鈴木 実/小猿:鈴木颯真

4/2(日) 3:30PM開演 阪急 中ホール

A席5,000円 B席3,000円(全席指定/税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

0歳から入場可!

初めてだからこそ、  
ホンモノに触れたい—  
「みんなで楽しく狂言会」で、  
気軽にホンモノ体験を



「口真似」より

狂言にこれまでご縁のなかった大人の方も、狂言はもちろん劇場デビューがこれからというお子さまも、“初めて”の体験はドキドキしますね。  
「みんなで楽しく狂言会」はやさしい解説付きであつという間の60分。  
茂山千五郎家の狂言は、いつの時代もどんな方にも愛される「お豆腐狂言」。  
難しく考える必要はありません。素直に笑って楽しい時間を過ごしてください。  
ちょっとそこまでお花見に行くように、気軽な気持ちで狂言を観に劇場に足を運んでみてはいかがでしょうか?そこにはまだあなたの知らなかった新しいわくわく体験が待っているかもしれません。

## みんなで楽しく狂言会

解説:茂山千之丞

※解説つき/上演時間 約1時間

うお ぜつ きょう  
「魚説経」

出家:茂山 茂  
都の者:島田洋海

くち ま ね  
「口真似」

太郎冠者:茂山逸平  
主人:茂山宗彦/客:茂山千之丞

4/2(日) 1:00PM開演 阪急 中ホール

1,000円(全席指定/税込)

※3歳以上有料  
(3歳未満のお子様でも、座席が必要な場合は有料)

### お豆腐狂言って?

茂山千五郎家の家訓とも言われる「お豆腐主義」。その言葉は、二世千作への悪口に由来しています。昔、限られた身分の人だけのものであった時代に、二世千作は広く大勢の人に親しんでもらおうと、色々な所に出向いて狂言を演じました。京都では常々おかしに困ったら「お豆腐にでもしとこか」などと言います。それになぞらえ「茂山の狂言はお豆腐や」「余興に困ったら、茂山の狂言にでもしとこか」と人々は彼の行動を揶揄したそうです。しかし二世千作は「お豆腐で結構。それ自体高価でも上等でもないが、味つけによって高級な味にもなれば、庶民の味にもなる。お豆腐のようにどんな所でも喜んでいただける狂言を演じればよい。」と、悪口を逆手にとりました。いつの世も、どなたからも広く愛される、飽きのこない、そして味わい深い。そんな「お豆腐狂言」を、たっぷりとお賞味ください。



千五郎さんから、  
狂言を初めてご覧になる方へ—  
狂言は全然難しい  
演劇ではありません。  
特に「みんなで楽しく狂言会」の演目は  
本当に楽しく狂言らしい演目です。  
皆さん、狂言を見て、楽しく笑って、  
元気になるてください。



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

チケットのご予約・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日]

※やむを得ない事情により、出演者、演目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

### 《チケットご購入のお客様へお願い》

※新型コロナウイルス感染予防対策は、今後の状況により変更する可能性があります。

最新の状況はウェブサイトをご確認いただきますようお願いいたします。

※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。

※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取り扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。

※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者などが変更される場合があります。予めご了承ください。

